

■ 令和6年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

第3回幹事会

■ 日時:令和7年3月28日(月)10:00~12:00

■ 場所:四日市商工会議所3階大会議室(オンライン併用)

■ 出席者

(有識者)

村山顕人、松本幸正(オンライン)、有賀隆

(交通関係者)

牧野修幸(代理、オンライン)、尾崎彰(代理)、小瀬古恵則(随伴)

(商工関係者・大規模権利者・事業展開企業)

伊藤和泉(代理)、木室康弘(オンライン)、山下二三夫、鈴木 主計、須藤康夫(随伴)、井上貴昭(代理、オンライン)、西口 拓実(代理、オンライン)、吉田健(オンライン)、山本龍太郎(代理)、白井 智博(オンライン)、白江真二(代理、オンライン)

(行政)

稲本恵一(代理、オンライン)、館英次

(賛助会員)

中村出、河野正雄(随伴、オンライン)、福田泰之、高木 克真、奈良岡 龍一

(オブザーバー)

国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設安全対策官 崎谷唯比古(オンライン)

国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 係長 檜林哲也(オンライン)

国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長 後藤直紀(オンライン)

国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課専門官 田中秀和(代理、オンライン)

国土交通省中部運輸局三重運輸支局企画調整担当 小坂和都(代理、オンライン)

■ 次第

1. 開会

2. 議題

・議決事項 第1号 スマートシティ実装化支援事業に係る令和6年度補正予算について

・議決事項 第2号 スマートシティ実装化支援事業に係る令和7年度予算について

・議決事項 第3号 協議会規約の改正について

・議題 第1号 今年度のスケジュールについて

・議題 第2号 ワーキンググループ(WG)の実施報告

・議題 第3号 令和6年度のスマートシティ実装化支援事業の報告

・議題 第4号 実行計画の進捗について

・議題 第5号 その他報告事項について

3. 閉会

■ 内容

【1.開会】

<進行>

本日は、ご多用中にも関わらずご出席いただき、ありがとうございます。ただ今から「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」の令和6年度第3回幹事会を開会いたします。本日の会議を進行させていただきます、四日市市政策推進部政策推進監の櫻井です。よろしくお願いいたします。はじめに、お手元の資料をご確認ください。全部で10種類の資料と2種類の別添資料をお配りしています。過不足ありましたら、挙手にてお知らせください。それでは、冒頭挨拶として、協議会会長である館副市長より一言お願いいたします。

<館副市長>

皆さんこんにちは。年度末の忙しい時期でございますがお集まりいただき、またWEBでご参加いただきましてありがとうございます。本幹事会の会長を務めさせていただいております四日市市副市長の館でございます。本日の推進協議会でございますけれど、今年度第3回目ということでよろしくお願いいたします。本日の議題でございますが、お手元の議事次第でございますように、3か年で実施しておりますスマートシティ実装化支援事業につきまして、来年度の予算に向けて一部を国の補正予算ということで前倒しさせていただいており、それにつきましても協議会予算としたいということで提案させていただいております。それから協議会の規約について、監査委員を増員するというごでございます。それから報告事項といたしまして、データプラットフォームワーキンググループ、モビリティワーキンググループそれぞれからご報告いただきたいと思います。それから、スマートシティ実装化支援事業の今年の事業内容やその成果につきましてご報告させていただきます。また、実行計画自体の進捗状況についてもご報告させていただきます。

皆様もご承知の通り、中央通りの整備が着々と進んでおります。特に西側の市民公園は2月14日にオープンのセレモニーを致しました。その中にはデジタルサイネージやFreeWifiのアクセスポイントもできまして、スマートリージョン・コアで計画している一部が動き始めており、さらに回遊性が高まればと思っております。今後も東側の方に整備が進んでまいります。それに応じてスマートリージョン・コアの取組を着々と進めてまいりたいと思っております。本日は皆様方からぜひ忌憚のないご意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<進行>

ありがとうございました。続きまして、本来であればご出席の委員・企業・団体の皆様のご紹介をさせていただきたいところではございますが、時間の関係もございますので、別添の出席者名簿に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【2.議事】

<進行>

本日の議題につきまして、先ほど会長からも触れさせていただきましたが、はじめにスマートシティ実装化支援事業に係る令和6年度補正予算、令和7年度予算、協議会規約の改正に係る議決事項を予定しています。続いて、今年度のスケジュールの確認、ワーキンググループの実施状況、令和6年度スマートシティ実装化支援事業の報告、スマートリージョン・コアの実行計画の進捗についてご説明させていただきます。ご質問やご意見を頂戴する時間は、議題ごとに適宜設けさせていただきます。

それでは早速ですが、最初の議題を進めさせていただきます。スマートシティ実装化支援事業に係る令和6年度補正予算、令和7年度予算についての議決事項1と2でございます。

<市政策推進課>

資料2、3に基づいて説明

<進行>

本件に関してご質問がある方は挙手にてお願いいたします。

よろしければ、議決事項1につきまして本協議会規約第7条第5項の規定に基づきご承認をお願いいたします。ご承認頂ける方は挙手をお願いいたします。

<会場>

挙手確認

<進行>

ありがとうございます。議決事項2につきまして同じくご承認頂ける方は挙手をお願いいたします。

<会場>

挙手確認

ありがとうございます。それぞれ幹事会員総数の過半数を超えるご承認をいただきましたので、原案通りの議決とさせていただきますと存じます。続きまして協議会規約の改正についての議決事項3でございます。

<市政政策推進課>

資料4に基づいて説明

<進行>

ありがとうございます。本件に関してご質問がある方は挙手にてお願いいたします。よろしければ、議決事項3につきまして本協議会規約第7条第5項の規定に基づきご承認をお願いしたいと思います。ご承認頂ける方は挙手をお願いいたします。

<会場>

挙手確認

ありがとうございます。幹事会員総数の過半数を超えるご承認をいただきましたので、原案通りの議決とさせていただきますと存じます。議決事項については以上となりますので、続いて報告事項に移ります。ここからの進行は座長をお願いしたいと思います。村山先生、どうぞよろしくお願いいたします。

<村山先生>

承知いたしました。よろしくお願い致します。まず初めの議題は、令和6年度のスケジュールについての確認です。詳細のご説明は(株)日建設計様よりお願いいたします。

<日建設計総合研究所>

資料5に基づいて説明

<村山先生>

ご説明ありがとうございました。スケジュールについてご意見やご質問のある方は、挙手のうへご発言願いたいと思います。

無いようですので、続きまして議題2、ワーキンググループ(WG)の実施状況に関するご報告です。前回の幹事会以降に各WGで実施された会議の内容を報告していただきます。それぞれのWGの代表企業様からご説明頂こうと思いますので、はじめにデータプラットフォームWGの代表である(株)シー・ティー・ワイ様からお願いいたします。

<シー・ティー・ワイ>

資料6-1に基づいて説明

<村山先生>

ご説明ありがとうございます。質疑応答はまた後でお願い致します。続いてモビリティWGの代表である(株)マクニカ様からお願いいたします。

<マクニカ>

資料6-2に基づいて説明

<村山先生>

ご説明ありがとうございました。それでは2つのWGの実施状況について、ご意見やご質問がある方は、挙手のうえでご発言いただけますでしょうか。

私からよろしいでしょうか。データプラットフォームWGにつきまして、令和8年度以降に民間参加型の課題提示型支援実証を行うということで、令和7年度は大事な振り返りの一年になると思いました。先ほど名古屋工業大学の研究との連携についてお聞きしましたが、こういうデータを研究者はすごく欲しいのですね。お金を払ってでも欲しいので、大学とか学会と連携して、このデータがうまく活用されるといいのかなと思いました。私の身近なところだと、他の都市計画分野で気候変動対策の研究においては、今回のアンケートでは使い方が不明とされていた気候や天候データが実は欲しくて仕方がないのです。例えば、温熱環境シミュレーションが必要な研究ではコンピューター上でシミュレーションを行いますが、それが実際の値と合ってるか否かチェックを行う必要があります。今までそれをやるためには専門業者に何十万円もお金をかけて依頼していましたが、予算の関係でせいぜい夏の暑い日に2日間ぐらい何スポットかのデータしかできないのが現状です。四日市市の場合は、既に環境センサがついており年間を通じて複数個所でデータがあるので、シミュレーションの精度をどんどん上げることができ、それに対して研究費をつけてデータへの対価を支払う可能性はあると思います。ただ、データを欲しい方と出会うコミュニケーションがないとこういうことは起こらないので、そのために四日市市でも「こういうデータを蓄積しています。これをぜひ使ってください」という内容を、例えば私が所属している都市計画学会のメールマガジンに投稿するだけで結構反応してくる人がいるはずなので、少しアプローチをしていくといいのかなと思っています。研究者は秋になると次年度の研究費を申請するので、その前までにこういう話ができるように具体的に令和8年度以降に動きの出る可能性はあります。私も大学の人間として協力したいと思っていますので、ぜひよろしく願いいたします。

<シー・ティー・ワイ>

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

<村山先生>

他にいかがでしょうか。

<館副市長>

モビリティWGで、デジタルポイントラリーを通じて港の方に人を誘導してもらいましたが、この前、別会議の四日市みなとまちづくり協議会がありました。これは、行政と商工会議所等がBAURAミーティングなどを行っている組織ですが、そちらでも将来の整備に向けての計画作りとかイベントも始まっていますので、もし今年また同様のイベントを行う時には、スポット、ルート、時期なども調整・連携できると、よりいいデータが出ると思います。

<マクニカ>

おっしゃる通りです。今回は時間が限られていたということもあり、港の方ではただスポットを設置しただけだったのですが、そこに行った後に何があるかというのが結構重要で、例えば、普段はそのスポットにおいてウェブアプリを立ち上げても特に情報が載っていないのに、イベント等の情報が掲載された場合、それを見てそのスポットに行く人が一定程度いるのではないかと思います。イベント情報とかその行った先にこういうことがあるという情報をマップ上に載せて活用したいと思います。

<村山先生>

他にいかがでしょうか。オンライン参加の方は挙手ボタンを活用お願い致します。

すぐにはご発言無いようですので、最後の方で時間があればもう一度戻って来ることもできますので、次に進めたいと思います。

議題3、令和6年度スマートシティ実装化支援事業についての報告になります。

詳細のご説明は(株)日建設計様よりお願いいたします。

<日建設計総合研究所>

資料7に基づいて説明

<村山先生>

ご説明ありがとうございました。

それでは今ご説明がありました資料などの内容についてご質問、ご意見等ございましたら、挙手の上ご発言お願い致します。

有賀先生、もしよろしければ一部大学の方でやっていらっしゃるので補足説明等をお願い致します。

<有賀先生>

有賀でございます。

まず国土交通省の補助事業である実装化支援事業という枠で見ると、令和6年度の成果、それから令和7年度の計画という意味では、それぞれ4つの事業について検討課題などはある一方、3年間の目標が一定程度はつきりしてきたかなと思っています。一方で、資料7の49、50ページに記載されている中央通りの社会実験は昨年11月に近鉄駅西口の先行整備区間で行われたものですが、今後、東口、バスタ、中央通り公園、将来的にJR四日市駅の方までハードの方の整備が進んでいく中で、事業①から④のシステムのユーザビリティのようなものはこの3年間で一定程度検証できると思いますが、発信していく情報の有益性とか有用性については、おそらくハード整備の進捗とともに変わっていくと思います。そうすると、当然ながらハードの実空間ができていくと、それまでは例えばデジタルやバーチャルで表現していたものが、よりリアルな空間として現実的に目の前にできてくると、求められる、或いは期待される情報もそれ以上のものになってくると想定されるので、先々のことを考えると、四日市スマートリージョン・コア推進協議会として情報のアップデートについてフォローしていくことが必要と思います。例えば、前回の幹事会でも意見が出ましたが、市外または北西地域から四日市の都心部への来訪を促すような情報発信や、鉄道駅からどのように人を循環、回遊させるかという課題に4つの事業がどう絡んでいくのかという検討も必要だと思います。また、市内でも郊外にお住まいの方が路線バスで来られた後、バスタから中央通り公園や西口の方にどうやって回遊性を促すのかという観点も必要ですし、都心付近にお住まいの方は散歩も含めて徒歩或いは自転車で来られると思うのですが、その際に事業①から④で3年間検証したシステムを今後どうアップデートしていくか、引き続きフォローアップが必要と思います。それが全体を通してまずは感じたことです。

それから、これらの事業①~④の中でも個別に実証していくところと、互いにオーバーラップするところなどが2年目になってようやく見えてきたと思います。例えば先ほどの人流データについても、リアルタイムの人流や災害時の避難の迅速性に繋げたり、或いはその時のリアルタイムな混雑度を見ることで利用者側からは行ってみようとか避けようとかいろんな行動パターンが出てくると思います。一方で企業にとっては、人流データについても週変動、月変動、季節変動のようなデータがむしろ必要かもしれない。あるいはイベントカレンダーで大型の市民イベントの日にちが分かっている際には、事業③と②をうまく連携しながら様々な事前対応、例えばその混雑度予測のようなこともできるように思います。その場合は、リアルタイムデータよりも過去のイベント時のデータを取っておいて、月変動あるいは季節変動、イベント内容による変動など事前にいろいろな情報を準備してPRしていくということになるのかもしれない。

その意味では、事業①から④の中の重なっている部分も見えてきたので、令和7年度の補助事業最終年度に実施するか否か、これは時間との関係や現段階のそれぞれのKPI設定との折り合いの付け方も含めて、検討が必要だと思います。

事業③そのものの中身については、もしご質問があれば、説明させていただこうと思います。

<村山先生>

どうもありがとうございました。他にいかがでしょうか？

私から、10ページの「利活用空間活性化ツールの構築」のところでデジタルサイネージによる災害情報発信が挙げられています。ここで想定している災害は地震、津波、台風等だと思いますが、ここに熱中症を入れた方がいいのではと思っています。夏の暑い時に、市役所としてもおそらく熱中症に係る様々な情報を出していると思います

が、暑いから街に来ないでください、ということでは中心市街地が活性化しないので、街なかでも相対的に涼しいルート、時間帯によってリアルタイムに示される建物の影、緑があるなど相対的に涼しい場所などの情報を出していくことが考えられます。あと、環境省がクーリングシェルターという暑い時に人々が逃げ込むような店舗等を登録する取組を行っていますが、その情報などもデジタルサイネージや個人個人のスマホにも転送されるようにすると、例えばA地点からB地点に行く時に最短距離ではなくて、一番快適なルート或いは涼しいルートを示したり、途中にクーリングシェルターとか水を飲める場所を表示するなど可能と思います。環境データと人流系のデータをうまく統合して、これは民間企業が儲かるような話ではないので、公共が熱中症対策として取組を行うのがよいと思います。また、そうしたデータをストックしていくと物理的にこの場所はもう少し影を作った方がよい、などアーバンデザインにもつながるような話が出てくると思います。すぐには実現できないかもしれませんが、少なくともそのような方向で、うまく大学との連携も図りながら進めていければと思います。

<村山先生>

それではちょっと時間も押していますので、次に進みまして、最後にまた何かあれば戻りたいと思います。議題4、令和6年度の四日市スマートリージョン・コア実行計画の進捗についての報告になります。(株)日建設計様より説明をお願いいたします。

<日建設計総合研究所>

資料8に基づいて説明

<村山先生>

ご説明ありがとうございます。

スマートリージョン・コア実行計画の進捗状況について、大変分かりやすい整理になっていると思います。

内容的にはこれまで議論してきた内容と思いますが、「四日市スマートリージョン・コア実行計画フォローアップ2024」についてご質問やご意見があれば挙手いただけませんか。

これは、今後ホームページ等で公開される予定でしょうか。

<日建設計総合研究所>

その予定です。

<村山先生>

ありがとうございます。

それでは、ご発言がなければ次に参りたいと思います。議題5、その他報告事項について。四日市まちづくりハッカソンの実施について、デジタル戦略課からご説明をいただきますのでよろしくお願ひ致します。

<デジタル戦略課>

資料9に基づいて説明

<村山先生>

ご報告ありがとうございました。

今の内容に関しまして、ご意見ご質問がある方は挙手いただきたいと思います。

それでは本日の議題は以上となりますが、全体を通してのご質問やご意見がございましたら、ぜひこの時間にご発言いただきたいと思います。改めてご質問等がありましたらお願いいたします。

ありがとうございます。それでは、進行を事務局へお渡しします。

議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

<進行>

村山先生ありがとうございました。

それでは、もしよろしければ全体を通してご参加いただいている中で、オンラインでご参加いただいている松本先

生からもコメントをいただいてもよろしいでしょうか？

<松本先生>

松本でございます。

ちょっと音声の調子が悪くて少し聞き取りにくかったのと、途中でミュートが外れた方がいて、そこで雑音が入ってしまいはっきりと聞き取れない部分もあって、ひょっとしたら重なることを言ってしまうかもしれませんがご容赦いただければと思います。

まず全体としましては、各取り組みが着実に進捗しているということを確認でき、それぞれ成果も出てきていると思っています。KPIについては未達というところもありますが、一方で課題が明らかになっておりますので、その課題を一つ一つ解決に向けて改善してもらえればいいのではと思っております。並行して中央通り再編の工事も進んでおりますので、いよいよマネジメント体制も作っていく必要があると思っております。先ほどマネジメント体制についての言及もありましたので、体制を早急の実証しながら、供用開始されたときにスムーズに運用ができるような、そんな体制を模索していけるとよいのではと思っております。

それから、私は交通が専門なので四日市版MaaSの取り組みについて少しだけ要望をお話しさせていただきますと、今回港側にも移動があったということで、すごく良かったと思っております。特に重みをつけたスタンプラリーの結果であろうと思っておりますが、「MaaS」ですので、さらに公共交通を利用した移動を促してもらえるとよいと思います。要は、バスや鉄道を使って移動をした際にポイントがもらえる、その移動をMaaSアプリで検索するような形にしてもらうと一層MaaSという意味合いが強くなるのではないかと気がしました。それから「ウェルネス」という点ですが、実は人々に回遊してもらえばそれはまさにウェルネスにつながるもので、例えば、徒歩或いは自転車、いわゆるアクティブトラベルと呼ばれるものですが、その移動距離や歩数によってポイントを加算していくような仕組みがあっても面白いなど。それが難しければ、移動距離に応じて消費カロリーでビール1杯分、ケーキ1個分等の表示が出るような仕組みがあるとよいと思います。いずれにしても、皆様のご協力のもとで順調に進んでいるということを確認できました。

<進行>

松本先生、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第3回幹事会を閉会させていただきます。

ここで協議会会長である館副市長よりご挨拶がございます。

<館副市長>

一言ご挨拶させていただきます。

ご承知の方もいらっしゃると思いますが、3月で副市長を退任することとなりました。スマートリージョン・コアの運営・推進にあたりましてご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。このスマートリージョン・コアの計画だけではなく中央通りのニワミチよっかいちの整備、図書館整備、最終的にはJRのところまでの街灯ポール等を含む中心市街地のプロジェクトにつきまして、先日の議会において、総合計画の中間見直しの中にしっかり位置づけをすることができました。

これらのプロジェクトをしっかり推進していく体制もできております。私の後任は後ろにおります荒木でございますが、しっかり私どもの方も引継ぎをさせていただきますので、皆さん、今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。最後のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

<進行>

次年度の幹事会につきましては、また改めて事務局よりご案内させていただきます。

なお、連絡先が変更される場合にはご一報いただけますとありがたいのでよろしく願いいたします。

本日は忌憚のないご意見をいただき、また進行にご協力いただきありがとうございました。

以上